

(Ref P4)



(ChatGPT への質問)

今私は、私の Web site jscuk.org のドメインネームを、英国の IONOS から日本のさくらインターネットへ移行しようとして居ます。

その jscuk.org は 2026 年 1 月 31 日に Auto Renewal され、2027 年 1 月 31 日まで有効で、今はそのドメインネームの Auto Renewal は無効の設定に変更されており、更にドメイントランスファーもアンロックされており、ドメインネーム移行の為に Authorisation Code も発行済みです。

しかし、さくらインターネットは、そのドメインネームを Whois で検索すると Auto Renewal Period である為、ドメインネームの移行手続きが出来ないと主張して居ます。しかし IONOS はドメインネームの移行にはそのドメインネームが Auto Renewal Period か否かは関係ないが、どちらにしてもそのドメインネームの Auto Renewal は無効になっていると確認されました。本件、IONOS の言う事とさくらインターネットの言う事が異なり、さくらインターネットは jscuk.org の移行手続きを進めて頂けないのですが、IONOS とさくらインターネットの異なる見解の間に挟まれて私はどうすれば良いか助言をお願いします。

(ChatGPT からの回答)

技術的に整理すると、今回のポイントは：

.org ドメイン

2026 年 1 月 31 日に自動更新

有効期限は 2027 年 1 月 31 日

Auto Renewal は現在 OFF

Transfer Lock 解除済み

Auth Code 発行済み

しかし さくらインターネットが Auto Renewal Period 中なので不可と主張

まず結論

.org を管理しているのは Public Interest Registry です。.org は ICANN ルールに従っており、管理監督は ICANN です。ICANN の移行規則上、Auto-Renew Grace Period は移行禁止理由ではありません。つまり、Auto Renewal Period だから移行出来ないと言うのは、レジストリ規則としては正しくありません。IONOS の主張の方が、規則上は整合しています。

重要な誤解ポイント

Auto Renewal 設定と Auto-Renew Grace Period は別物です。IONOS が言っている Auto Renewal is disabled は、これは今後の自動更新設定の話です。しかし さくらインターネットが見ている Auto Renewal Period は、既に更新された後の 45 日間の猶予期間の事です。この 2 つは別概念です。

.org の仕組み

.org では、更新後 約 45 日間は Auto-Renew Grace Period で、この期間中でも 通常は移行

可能で、移行が成功すると、既存更新は自動的にキャンセルされ、新レジストラで1年延長される。つまり制度上は問題ありません。

可能性が高い原因

1) さくらインターネット側の内部運用制限

さくらインターネットはレジストリ規則とは別に、Auto-Renew Grace Period 中の .org は受付不可と言う内部ポリシーを持っている可能性があります。これは技術的制限ではなく、運用判断の可能性が高いです。

2) 実はレジストリステータスがロックされている

Whois で確認して欲しいのは、Domain Status が、もし以下があれば移行不可。

serverTransferProhibited

clientTransferProhibited

もし Domain Status が ok なら理論上は移行可能です。

現実的な解決策（優先順）

方法1（最も安全）

Auto-Renew Grace Period 終了まで待つ（約45日）。2026年1月31日更新なら、3月中旬頃まで待てば自然解除されます。これは最も確実です。

方法2（早く移したい場合）

IONOS に、今回の自動更新をキャンセル（refund）可能かと確認する。Auto-Renew Grace Period 中なら更新を取り消せる場合があります。これが出来れば即移行可能になります。

方法3

さくらインターネットへ以下を正式に問い合わせ：

.org registry 規則で Auto-Renew Grace Period が移行不可理由になる根拠条文。それがレジストリ制限なのか、さくらインターネットの内部ポリシーなのか、これに対応が変わる可能性があります。

ICANN への相談は？

最終手段です。

しかし今回のケースは、規則違反と言うより、受入側レジストラの運用問題の可能性が高いです。

ChatGPT の判断

99%の確率で、技術的には移行可能。しかし、さくらインターネットの内部ルールで止まっている。一番簡単なのは45日待つ事。あなたへの具体的アドバイスは、急ぎでなければ3月中旬まで待ってから再申請。急ぎなら、IONOSへAuto-Renew 取消し可能か確認。

もし宜しければ、Whois の Domain Status と、さくらインターネットからの正確なエラーメッセージを教えてください。更に精密に分析します。